

2025 年 9 月 17 日

AGC、国内建築用ガラス関連製品の価格を改定

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、国内建築用ガラス関連製品の販売価格を 2025 年 12 月 1 日納品分より引き上げることいたしました。引き上げ率は、フロートガラスが約 10%、型板ガラス・網入型板ガラス・網入磨き板ガラスが約 15%、建築用加工ガラスが 15～20%です。また、一部の製品については、20%以上の引き上げを予定しています。

AGCグループの国内建築用ガラス事業では、製造関連設備の維持更新や人件費、建築用加工製品の副資材等、ガラスの安定供給に必要な費用の増加が課題となっています。当社グループとしては、生産性向上等のコスト削減に努めてまいりましたが、増加分を全て吸収することは困難と判断し、今回の価格改定を決定いたしました。

AGCグループは、中期経営計画 [AGC plus-2026](#) において、市況変動に強く、資産効率・成長性・炭素効率の高い事業ポートフォリオの構築を目指し、様々な施策を行っています。

国内建築用ガラス事業においては、安定的な製品の供給および事業収益性の改善を通じて、継続的な社会的・経済的価値の創出に努めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

AGC 株式会社 広報・IR 部

TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#)